

西条での過ごし方について

教育学部学生 ◆ 石田聡子

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんに、西条での生活の一端を書きたいと思う。



広島市内ならともかくも、西条では遊ぶところはない。そこで、暇な時間をどう過ごすのか、ということとは新入生には大きな問題であろう。きっと、四月の電話代に驚く人も多数いるだろう。

それで対処方法として、クラブ又はサークルに入ること。バイトに励む、勉強に専念するなどもある。クラブは暇がなくなるという点では、忙しいのが好きな人におすすめである。バイトに励むには、広島市内に引越した方がよいが、一コマ目の授業はかなりきつい。勉強に専念するには西条は適した土地だと思う。しかし、新入生は遊びたいだろうと思うけど...

ちなみに、私は体育会サッカー部のマネージャーをしている。部員はともかくも、マネージャーは人手不足なので、やる気のある人はぜひ南グランドまで来てください。ということで、それぞれ自分の西条生活を見つけて大学生活を楽しくしてください。

(いしだ・さとこ)



自由とともに自制心を

学校教育学部長 ◆ 間田泰弘



教育に意欲と関心をもって今日を迎えた新入生諸君！ 君たちを心から歓迎する。

大学生になると社会も我々も君たちを一人前として扱い、大幅に自由が与えられる。

その一つに大学では、納得できるまで勉強できるという自由がある。

また一方では、大学での学問以外に社会勉強ができるという自由もある。

クラブ活動や社会での経験は、人間を大きくするのに極めて有効である。

特に、君たちの多くは多様な個性をもつ子どもたち

の教育を担う。そこでは、学問上の知識や専門的技術とともに柔軟な人間性が求められ、社会経験が大いに役立つ。

また、広い視野と人との交流は、将来にわたって大きな財産にもなる。



教育実習 (体育の授業)

ただし、多くの社会経験は、自分の都合で自由に選択でき、その中には理性を失わせるようなことも多い。その時、自らを強く律する「自制心」の有無は、君たちの人生を大きく左右する。

また「自由」には、「社会常識」と「責任」が伴わなければならない。

知らなかったとか、すみませんでは許されないことが多

い。現在、社会のみならず家庭や学校は大きな課題を抱えており、それらを支えていく君たちには大きな負担がかかるだろう。

我々も、社会に対する責任を感じながら、現状に対応できるよう改革を進めたい。

ともに有意義な時を過ごし、ともに充実したいと願っている。

(まだ・やすひろ)

無限への挑戦

教育学部学生 ◆ 都築千春



新入生の皆さん、ご入学おめでとう。

受験勉強から解放された今、遊びたい気持ちでいっぱいの人も多いはずだ。私はそうだった。大いに遊んで結構だと思う。

しかし、自分のやるべきことは見失わないで欲しい。もし、そうなりそうな時は、もう一度初心に戻ろう。自分は何をしにこ

こへ来たのか。やる気に満ちあふれた今の気持ちには忘れないで欲しい。

四年間の、長いようであつという間の大学生生活では、さまざまなことがあると思う。辛いこと、楽しいこと、悔しいこと。それらは多分、人生の中で二度とはない価値あるものになるはず。一つひとつが大切な思い出となるだろう。可能な限り多くの思い出をつくって欲しい。

大学生活は自分次第。積極的に行動し、やりたいこと、やるべきことを、とことんやってみよう。私も若い時、あなたがたはもつと若く、無限の可能性をもっているのだから。

(つづき・ちはる)

